



Press Release

AIG
175 Water Street
New York, NY 10038
www.aig.com

本稿は2019年11月25日、AIG米国本社がCarlyle社及びT&D社と連名で発表した英文プレスリリース（原文）の参考訳です。
本稿と原文との間で解釈に相違が生じた際には、原文が優先します。
原文は本日付で、AIGジャパンのホームページに掲載しています。

カーライル・グループ及びT & Dホールディングスによる AIGの再保険子会社Fortitude Reの マジョリティ持分の取得（総額約1.8十億ドル）

- 本取引により、Fortitude Reは新たに長期的株主を獲得し、かつ、再保険債務に対する強固な資本基盤を維持して参ります。
- Fortitude Reは、グローバルな保険会社に対して、競争力のある再保険及び「ランオフ化」した既契約保険のソリューションの提供に継続して注力して参ります。
- カーライルは、アセットマネジメント事業におけるFortitude Reとの戦略的リレーションシップを継続して参ります。
- T & Dは、保険業界での経験やネットワークを活用し、Fortitude Reの成長を支援して参ります。

2019年11月25日（ニューヨーク）・11月26日（東京）：アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG、以下「AIG」）、カーライル・グループ（ナスダック取引所銘柄：CG、以下「カーライル」）、及びT & Dホールディングス（東京証券取引所銘柄：8795、以下「T & D」）は本日、本件の出資エンティティであるカーライルの新設ファンド及びT & Dが、再保険会社であるFortitude Reを傘下に持つFortitude Group Holdings, LLC（以下「Fortitude」）の76.6%の持分（総額約1.8十億ドル）をAIGから取得することを発表しました。本取引完了後、カーライル及びその他投資ファンドの持分は71.5%（2018年11月にカーライルが取得した19.9%の持分を含む）、T & D及びAIGはそれぞれ25%、3.5%となります。AIGは本件に際して500百万ドルの特別配当を受け取る予定です。但し、本取引完了日もしくは2020年5月13日のいずれか遅い時期までに支払われない場合、カーライルの新設ファンド及びT&Dより、Fortitude Reへのそれぞれの持分割合に応じた金額がAIGに支払われる予定です。

本取引により、AIG及びカーライルは、Fortitude Reを独立企業として、グローバル保険業界の長期に亘る複雑な保険引受リスクに向けた遡及的再保険及び「ランオフ化」した既契約の主要なソリューション提供者としての確立に努めて参ります。また、本取引を通じて、カーライルはFortitude Reの長期的な成長プランを支援し、また、Fortitude Reはカーライルが持つ多様な投資戦略を活用することにより、長期的な成長を追求して参ります。また、T&Dは保険業界及び国際的な専門的知見を提供することにより、Fortitude Reの戦略的に差別化された事業の発展を支援致します。加えて、Carlyle、T&D及びAIGの支援の下、Fortitude Reはレガシー保険ポートフォリオの取得及び管理により、グローバルな収益機会を追求して参ります。

AIGの社長兼CEOであるBrian Duperreaultは次のように述べました。「本日の発表は、当社のレガシー負債を効率的に運営する為の戦略においては更なる重要な一歩となります。Fortitude Reに独立性を持たせるとともに、当社のバ



ランスシートの強化、保険契約者及び当局承認に向けてコミットして参ります。また、カーライルが有する企業分離・設立に関する専門性は非常に価値が高く、カーライル及び、日本市場において長期的な関係を構築しているT & Dと、本案件を進めるにあたり、引き続きの連携を期待しております。また、本案件の合意に向けて尽力したFortitude Reの全てのチームに感謝を伝えるとともに、本案件が成功裡に終わることを期待しております。」

カーライルの共同CEOであるKewsong Leeは次のように述べました。「本取引は、株主価値向上を目的に更なるプラットフォームの拡大を図る当社戦略を象徴する案件です。CEOのJames Brackenが率いるFortitude Reは、「ランオフ化」した保険負債の運営における業界リーダーとしての地位を確立しており、我々はFortitude Reのマネジメントチームと共に同社を成長させることを楽しみにしております。また、多様な資産クラスに亘って魅力的な投資リターンを提供している様に、Fortitude Reに対して我々のグローバルな投資運営サービスを提供できる可能性について心を躍らせております。当社はAIGとのパートナーシップに、AIG同様に保険業界において極めて豊富な経験を有するT & Dが加わることを歓迎し、ファンド投資家にとって魅力的な投資機会を創出することを楽しみにしております。」

T & Dの代表取締役社長である上原弘久は次のように述べました。「我々はFortitude Reのような優良なポートフォリオを持つ再保険会社へ出資できることを大変光栄に思います。我々はAIG及びカーライルと長期的な関係を維持しておりますが、このクローズドブック事業は我々の国内の生命保険事業と大きなシナジーをもたらすほか、我々の事業ポートフォリオの多様化に寄与するものと考えています。また、国内生命保険プレイヤーとしての経験・ノウハウを提供することで、Fortitude Reの成長をサポートしていきたいと考えています。」

本取引は規制上の承認及びその他の取引完了要件の充足を条件として2020年半ばの完了を想定しています。

ウィルキー・ファー&ギャラガーLLPはAIGの法律顧問を務めました。

デビボイス&プリンプトンLLPはカーライルの法律顧問を、オリバー・ワイマンはカーライルの戦略的財務アドバイザーを務めました。

シティはT & Dの財務アドバイザーを、西村あさひ法律事務所、キング&スポールディング及びアップルビーはT & Dの法律顧問を務めました。

シドリーオースティンLLPはFortitude Reの法律顧問を務めました。

Fortitude Re に関する追加情報は、同社のウェブサイトにも掲載されます(<https://www.fortitude-re.com/>)。

T & Dによる本取引に関する追加情報は、T & Dが本日東京証券取引所に提出する適時開示資料に記載され、また同社のウェブサイトの「ニュースリリース」ページにも掲載されます(<https://www.td-holdings.co.jp/news/>)。

AIGの概要

AIGグループ(AIG)は、世界の保険業界のリーダーであり、80以上の国や地域でお客さまにサービスを提供しています。創業以来の100年の経験に基づき、

現在では、損害保険、生命保険、退職給付及びその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIGグループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人及び個人のお客様の資産を守り、リスクマネジメント及び確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。持株会社AIG, Inc.はニューヨーク証券取引所に上場しています。AIGの追加情報についてはwww.aig.comを参照ください。AIGに関する追加情報を記載しているこれらの参照先は便宜上提供されており、かかるウェブサイトに記載されている情報は、参照することにより本プレスリリースに組み込まれていません。

カーライル・グループの概要

カーライル・グループ（ナスダック取引所銘柄：CG）はグローバルに展開するプライベート・キャピタル投資会社で、深い業界知見を有しながら4つの分野「コーポレート・プライベート・エクイティ」「リアル・アセット（実物資産）」「グローバル・クレジット」「インベストメント・ソリューションズ」において投資活動を展開しています。カーライルの目的は、投資家、投資先企業、そして地域社会への価値創出を追求しながら賢明な投資を行うことであり、2019年9月30日時点の運用資産は2,220億ドル以上です。現在世界6大陸の33オフィスに1,775名以上の社員を擁しています。

T & Dホールディングスの概要

T & Dホールディングス（T & D）は、太陽生命保険会社、大同生命保険会社及びT & Dフィナンシャル生命の中核生命保険会社3社で構成されるT & D保険グループの上場保険持株会社です。本社は日本の東京に構えております。2019年9月30日現在、T & Dの総資産は16兆1,170億円です。また、1971年以来、国内市場において大同生命はAIGと長期的な提携関係を築いております。2019年6月、T & Dは完全子会社の投資会社であるT & D United Capital Co., Ltd.（TDUC）を設立いたしました。TDUCは、Fortitude Group Holdingsの25%の持分を直接取得し、T & Dの戦略的取組みの加速を図っております。

以上

AIGの将来の見通しに関する記載（ディスクレーマー）

本プレスリリースの特定の記述には、1995年米国民事証券訴訟改革法が定める「将来予測に関する記述」に該当する予測、目標、前提および記述が含まれる可能性があり、本日以降に、AIGが将来予測に関する記述について関連することを口頭にて言及する可能性があります。これらの予測、目標、前提および記述は歴史的事実ではなく、その多くが性格上、本質的に不確実でありAIGの管理の及ばない将来の出来事に関する、AIGの考えを表明するものに過ぎません。この予測、目標、前提および記述には、「予定する」「考える」「预期する」「期待する」「意図する」「計画する」「達成に注力する」「みなす」「目指す」「目標」「推測する」などの語句が前に置かれるか、後に続く、もしくはこれらを含む記述を含みます。場合によっては、AIGの実績および財務状況が、これらの予測、目標、前提および記述で示された結果および財務状況と、大幅に異なる可能性もあります。

提案された取引はリスク、不確実性、各種の要因に左右され、これが原因でAIGの実績が、特定の予測、目標、前提および記述に記載された結果と、場合によって大幅に異なるものとなる可能性があります。このリスク、不確実性および各種の要因として、①取引成立のための条件を満たせないか、または条件が放棄されたことをひとつの理由として、AIGが提案された取引を完了できな

い可能性がある場合、②提案された取引成立の時期が不確実である場合、③当該取引に対する規制当局の承認を得られない、または取引成立の他の条件を満たせないため、提案された取引を完了できない場合、④当該取引から期待されるシナジーまたは株主価値を実現できないか、シナジーまたは株主価値の実現が遅延する場合、⑤本取引契約の解除の原因となり得る何らかの出来事、変化または他の状況が発生した場合、および⑥1934年証券取引法に基づきAIGが証券取引委員会に定期的に提出する報告書に発見される可能性がある他の要因、を含みますが、これらに限定されるものではありません。

カーライル・グループの将来の見通しに関する記載（ディスクレーマー）

本プレスリリースには、米国の1933年証券取引所法のセクション27A並びに1934年証券取引所法のセクション21Eに該当する将来の見通しに関する記載が含まれています。これらの記載はカーライルの業績、財務、流動資産と資本資産、不測の出資、分配方針、将来の配当方針、コーポレーション形態への転換により予想される恩恵やその他将来に関する記述を含んでおり、「見通し」、「期待」、「潜在的」、「継続的」、「おおよそ」、「予測」、「意図」、「計画」等、並びにその否定が使用されております。将来に関する記述は様々なリスク、不確実性、仮定に左右され、実際の結果と大きく異なる可能性があります。これらの要因はカーライル・グループが2019年2月13日に米国SECへ提出した2018年12月期のForm 10-K 年次報告書にある「リスクファクター」に記載されており、SEC提出の都度更新され、SECのウェブサイト

(www.sec.gov) により確認できますが、全てのリスクを開示するものではなく、本プレスリリースやSECへの提出書類に記載している注意表示も合わせて読みください。また、カーライル・グループは、将来の見通しに関する記述に対して、新たな情報、将来の展開があった場合においても、適用法により求められる場合を除き、更新及びレビューを行う業務を担っておりません。

T & Dホールディングスの将来の見通しに関する記載（ディスクレーマー）

本資料には、当社（連結子会社を含みます。）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。過去に確定し正確に認識された事実以外の、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、様々な要因により変化することがあります。かかる記述は、判断や仮定に内在する不確実性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。また、当社は、かかる記述を更新する義務を負いません。したがって、本資料の利用は、今後の日本における届出とも照合確認し、利用者の判断により行われますよう、お願い申し上げます。



THE CARLYLE GROUP



Contacts:

AIG

Investors: Sabra Purtill; +1-212-770-7074; sabra.purtill@aig.com

Media: Daniel O'Donnell; +1-212-770-3141; daniel.odonnell@aig.com

The Carlyle Group

Investors: Daniel Harris; +1-212-813-4527; daniel.harris@carlyle.com

Media: Christa Zipf; +1-212-813-4578; christa.zipf@carlyle.com

T&D

Investors / Media: Daizo Hara; +81-3-3272-6103; daizou.hara@td-holdings.co.jp

**The Carlyle Group and T&D Holdings to Acquire Majority Interest
in Fortitude Re from AIG for Approximately \$1.8 Billion**

- Transaction provides Fortitude Re with new long-term shareholder base and maintains a strong capital position for supporting its reinsurance obligations
- Fortitude Re to maintain focus on providing competitive reinsurance and run-off management solutions to the global insurance industry
- Carlyle to continue its strategic asset management relationships with Fortitude Re
- T&D to support Fortitude Re's growth by leveraging its industry experience and networks

NEW YORK, November 25, 2019 and TOKYO, November 26, 2019 -- American International Group, Inc. (NYSE: AIG), The Carlyle Group (NASDAQ: CG) and T&D Holdings (TYO: 8795) announced today that a newly created Carlyle-managed fund, together with T&D, have partnered to acquire from AIG a 76.6 percent ownership interest in Fortitude Group Holdings, whose group companies operate as Fortitude Re, for approximately \$1.8 billion. After closing, ownership interests in Fortitude Re will include Carlyle and its fund investors at 71.5 percent (including the 19.9 percent stake previously acquired by Carlyle in November 2018), T&D at 25 percent and AIG at 3.5 percent. AIG will receive a \$500 million non-pro-rata distribution, which if not paid by the later of May 13, 2020 or transaction close will result in an additional payment from the new Carlyle-managed fund and T&D based on their Fortitude Re ownership interest.

This transaction furthers AIG's and Carlyle's efforts to stand up Fortitude Re as an independent company and position it as a premier provider of retroactive reinsurance and legacy run-off management solutions for long-dated, complex risks to the global insurance industry. The transaction will enhance Carlyle's ability to support Fortitude Re's growth plans, provide Fortitude Re access to Carlyle's wide array of investment strategies and position it for long-term success. T&D brings additional industry and international expertise to develop Fortitude Re's strategically differentiated capabilities. With the backing of Carlyle, T&D and AIG, Fortitude Re will pursue global opportunities to successfully acquire and manage legacy insurance portfolios.

Brian Duperreault, AIG's President and Chief Executive Officer, said, "Today's announcement is another important step in our strategy to efficiently manage our legacy liabilities by further preparing Fortitude Re for independence, while strengthening our balance sheet and maintaining our primary focus on upholding policyholder and regulatory commitments. Carlyle's expertise in separating and standing up companies has been invaluable to date, and we look forward to working with their team and T&D, with whom we have a longstanding relationship in Japan, as we continue the separation process. I also want to thank the entire Fortitude Re team for all their hard work in building the organization. We look forward to their future success."

Kewsong Lee, Carlyle's Co-Chief Executive Officer, said, "This transaction demonstrates Carlyle's strategy of developing scalable platforms to drive shareholder value. Fortitude Re, led by CEO James Bracken, is strongly positioned as an industry leader in managing run-off insurance liabilities, and Carlyle looks forward to partnering with the management team to help Fortitude Re grow. We are excited about the prospects of further developing our global investment management services for Fortitude Re as we work to deliver attractive returns across a variety of asset classes. We welcome T&D to our partnership with AIG, both of whom are highly experienced players in insurance, and look forward to creating an attractive investment opportunity for our fund investors."

Hirohisa Uehara, T&D's Representative Director and President, said, "We are really honored to invest in Fortitude Re, which has developed a sophisticated platform for managing life and P&C insurance liabilities. We have longstanding relationships with both AIG and Carlyle, and we believe Fortitude Re's closed book business will contribute significant synergies to our domestic life insurance business as well as diversification of our business portfolio. Additionally, we look forward to supporting Fortitude Re's growth by leveraging our years of experience as a Japanese life insurer."

The transaction is expected to close in mid-2020, subject to required regulatory approvals and other customary closing conditions.

Willkie Farr & Gallagher LLP served as legal advisor to AIG.

Debevoise & Plimpton LLP served as legal advisor and Oliver Wyman served as strategic financial advisor to The Carlyle Group.

Citi served as financial advisor and Nishimura & Asahi, King & Spalding LLP and Appleby were the legal advisors to T&D.

Sidley Austin LLP served as legal advisor to Fortitude Re.

Additional information about Fortitude Re is available on its website at <https://www.fortitude-re.com/>.

Additional information about T&D's minority investment will be available in disclosures T&D will file today with the Tokyo Stock Exchange, which will also be posted on the "News Releases" page of its website: <https://www.td-holdings.co.jp/en/news/>.

About AIG

American International Group, Inc. (AIG) is a leading global insurance organization. Building on 100 years of experience, today AIG member companies provide a wide range of property casualty insurance, life insurance, retirement solutions, and other financial services to customers in more than 80 countries and jurisdictions. These diverse offerings include products and services that help businesses and individuals protect their assets, manage risks and provide for retirement security. AIG common stock is listed on the New York Stock Exchange. Additional information about AIG can be found at www.aig.com. References to additional information about AIG have been provided as a convenience, and the information contained on such website is not incorporated by reference into this press release.

About The Carlyle Group

The Carlyle Group (NASDAQ: CG) is a global investment firm with deep industry expertise that deploys private capital across four business segments: Corporate Private Equity, Real Assets, Global Credit and Investment Solutions. With \$222 billion of assets under management as of September 30, 2019, Carlyle's purpose is to invest wisely and create value on behalf of its investors, portfolio companies and the communities in which we live and invest. The Carlyle Group employs more than 1,775 people in 33 offices across six continents.

About T&D Holdings

T&D Holdings, Inc. (T&D) is a publicly listed insurance holdings company of T&D Insurance Group, which is comprised of three core life insurers, Taiyo Life Insurance Company, Daido Life Insurance Company, and T&D Financial Life Insurance Company. Its headquarters are located in Tokyo, Japan. As of September 30, 2019, total assets of T&D were JPY 16,117 billion. Daido Life has had a long-term business partnership with AIG in Japan since 1971. In June 2019, T&D established a wholly owned investment subsidiary, T&D United Capital Co., Ltd. which is the entity that will acquire a 25 percent ownership interest in Fortitude Group Holdings directly, with an aim of accelerating the strategic initiatives of T&D.

AIG Forward-Looking Statements

Certain statements in this press release may include projections, goals, assumptions and statements that may constitute “forward-looking statements” within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995, and AIG may make related oral, forward-looking statements on or following the date hereof. These projections, goals, assumptions and statements are not historical facts but instead represent only AIG’s belief regarding future events, many of which, by their nature, are inherently uncertain and outside AIG’s control. These projections, goals, assumptions and statements include statements preceded by, followed by or including words such as “will,” “believe,” “anticipate,” “expect,” “intend,” “plan,” “focused on achieving,” “view,” “target,” “goal,” or “estimate.” It is possible that AIG’s actual results and financial condition will differ, possibly materially, from the results and financial condition indicated in these projections, goals, assumptions and statements.

The proposed transaction is subject to risks and uncertainties and factors that could cause AIG’s actual results to differ, possibly materially, from those in the specific projections, goals, assumptions and statements include, but are not limited to (i) that AIG may be unable to complete the proposed transaction because, among other reasons, conditions to the closing of the proposed transaction may not be satisfied or waived; (ii) uncertainty as to the timing of completion of the proposed transaction; (iii) the inability to complete the proposed transaction due to the failure to obtain regulatory approval for the proposed transaction or the failure to satisfy other conditions to completion of the proposed transaction; (iv) the failure to realize the expected synergies or shareholder value from the transaction or delay in realization thereof; (v) the occurrence of any event, change or other circumstances that could give rise to the termination of the transaction agreements; and (vi) other factors that can be found in AIG’s periodic filings with the Securities and Exchange Commission pursuant to the Securities Exchange Act of 1934.

AIG is not under any obligation (and expressly disclaims any obligation) to update or alter any projections, goals, assumptions or other statements, whether written or oral, that may be made from time to time, whether as a result of new information, future events or otherwise.

The Carlyle Group Forward-Looking Statements

This press release may contain forward-looking statements within the meaning of Section 27A of the Securities Act of 1933 and Section 21E of the Securities Exchange Act of 1934. These statements include, but are not limited to, statements related to our expectations regarding the performance of our business, our financial results, our liquidity and capital resources, contingencies, our distribution policy, our expected future dividend policy, the anticipated benefits from converting to a corporation and other non-historical statements. You can identify these forward-looking statements by the use of words such as “outlook,” “believes,” “expects,” “potential,” “continues,” “may,” “will,” “should,” “seeks,” “approximately,” “predicts,” “intends,” “plans,” “estimates,” “anticipates” or the negative version of these words or other comparable words. Such forward-looking statements are subject to various risks, uncertainties and assumptions. Accordingly, there are or will be important factors that could cause actual outcomes or results to differ materially from those indicated in these statements including, but not limited to, those described under the section entitled “Risk Factors” in our Annual Report on Form 10-K for the year ended December 31, 2018 filed with the SEC on February 13, 2019, as such factors may be updated from time to time in our periodic filings with the SEC, which are accessible on the SEC’s website at www.sec.gov. These factors should not be construed as exhaustive and should be read in conjunction with the other cautionary statements that are included in this release and in our filings with the SEC. We undertake no obligation to publicly update or review any forward-looking statements, whether as a result of new information, future developments or otherwise, except as required by applicable law.

T&D Holdings Forward-Looking Statements

Statements in this press release that relate to future results and events are forward-looking statements based on T&D’s current expectations. Actual results and events in future periods may differ materially from those expressed or implied by these forward-looking statements because of a number of risks, uncertainties and other factors. All statements other than statements of historical fact are statements that could be deemed forward-looking statements. Actual events may differ materially from those indicated by such forward-looking statements. In addition, the forward-looking statements represent T&D’s views as of the date on which such statements were made. Subsequent events and developments could cause T&D’s views to change. Although T&D may elect to update these forward-

looking statements at some point in the future, it specifically disclaims any obligation to do so. These forward-looking statements should not be relied upon as representing T&D's views as of any date subsequent to the date hereof.